

## 第13回 京機ミュージックカフェ レポート

### 土肥絵里香さん、ニューヨークから帰国ピアノコンサート

～ ニューヨーク発ピアノコンサート「BLUEPRINTS Piano Series」 ～

日時：2018年7月29日（日）13：30～

場所：青山音楽記念館（京都市 阪急上桂からすぐ）

京機会ミュージックカフェではすっかりおなじみの、京機会会員 土肥さん（S52 卒）のご令嬢「土肥絵里香さん」がニューヨークからの2018 来日公演です。

#### 今回のコンサートは？

テーマ『ノスタルジアとおとぎ話』

ニューヨークで大好評のソロピアノコンサート「BLUEPRINTS Piano Series」の初日本公演。ノスタルジアとおとぎ話を元にしたシューベルト・アルベニス・ラベルの曲をソロと連弾。



#### 【プログラム】

シューベルト●ピアノソナタ No.21 D.960

アルベニス●イベリア第1巻 エヴァカシオンと港

ラベル●夜のガスパール スカルボ

ラベル●マ・メール・ロア

#### 【演奏】

土肥絵里香さん

Daniel Anastasio

本人も MC でおっしゃってましたが、今回は、これまでとはうってかわってピュアクラシック。ご主人 Daniel さんとの出会いをきっかけに原点に戻られたとか。

そして、ピアノのみのコンサート。私もピアノのみのコンサートは実は久しぶりでした。会場の音響設計の素晴らしさもあいまって、会場内は、ピュアなピアノ音のみで 2 部構成の 2 時間が満たされました。

ピアノは、弦をハンマーでたたく打楽器の側面があります。だからエリカさんの指が弦をたたいていることになります。それは強弱さまざまでありますがアタックのある「粒」の集まりであり、その繊細な粒を聞き漏らすまいと聞いておりました。が途中から粒ではなく大きなうねるような流れをともなう連続体になって体中に伝わってきます。粒子であり連続体である。このまかふしぎな説明を大学の講義でも聞いたような。そんな理系な分析をしたくはなかったのですが、透明で美しい音の洪水に、空間が満たされ、自然に脳内が研ぎ澄まされた感覚になり勝手にニューロンが動き回ってしまったのです。

こんな感覚にさせていただいた演奏は、本当に久々のことであり、ほんとうに「いい時間」をすごさせていただきました。

写真の皆さんのお顔も、よどみのないすっきりしたお顔になってます。

エリカさん、土肥さん、ほんとうにありがとうございました。

